

「初年次地域キャリアデザインワークショップ」授業計画

Carrier Design Workshop in Oita for Freshperson

1. 授業の概要

(1) 大分県の現状について

大分県は、温泉などの観光とものづくり地域であるため、県内への若者就職数の増加にはこれら2つの産業の活性化が不可欠である。さらに、大分県の企業の99.9%（中小企業白書、中小企業庁）は中小企業であるため、中小企業の経営者自身が気づいていない自社の使えるコンテンツをビジネスに新しくつなげる等の中小企業の新事業立ち上げ支援策も必要となっている。加えて、広大な農山漁村の過疎エリアを大分県は持つ。このため、過疎地の農山漁村における特産品の6次産業化とそのブランド化がうたわれている。しかし、この過疎地では、情報発信力不足、ブランド力不足、観光×農、観光×医療などにおける人の心を揺り動かす企画力の不足などが大きな壁となっている。さらに、出生率の低下と人口流出も拍車をかける形で、地域特産品や6次産品を全国や世界に向けてICTで知らせる地域ブランディングがほとんど上手く展開できていない問題を抱えている。ムラを全国に世界につなげる人材の育成と、その人材が都市と連携しながら地域コミュニティのなかで生活を継続することが課題である。そのため、地域社会・企業組織が主体的に取り組む事業の支援を通じて、「地方創生」を担い支える人材の育成にある。

(2) 授業のねらいや構成について

本授業では、学生がキャリアデザイン力の育成をとおして大学での学びの価値を理解し、そのための学びを保証する授業を行うことが重要である。そのために、初年次教育において、学生自身が自ら学びを考えて、自分自身で学びの授業を作っていく教育過程を構成することとする。そのことによって、本授業で「大学教育での学びのステップを自分自身で身につける」ことを目指すものである。その学びの中で「大分」を教材として、大分地域での就業意識を醸成することをねらいとする。そのためには、これまでの「教授する」という大学教育の考えから脱却し、以下のような観点から、若手社会人との交流をとおして、地域社会・企業の魅力を知ることや、地域社会・企業の目標とそれに対応するために自分自身の課題に気付き、地域で活躍するための大学での学びのあり方について、COC+連携校の様々な分野で学ぶ同じ世代の学生が共に考える機会を作る授業を行うこととする。

- ①COC+連携校の様々な分野で学ぶ学生を対象として、地域の活性化を担う人材育成を目指した協働授業と、その評価方法を開発する。
- ②大分県を地域のモデルとして取り上げ、若者の雇用の現状など、いくつかの地域や地方が抱える特有の課題を提示し、その課題を解決する人材育成に必要と考えられる授業内容や、授業の展開方法、評価方法、その他の、大学等での学びのあり方についてグループを中心としたワークショップ（協同学習等）を行う。
- ③初年次学生を主な対象として、それぞれの分野で学ぶ学生たちが、社会での活躍に向けた各々の学びについて、地域の現状理解と地域で働く意義を学ぶことで、より安心して地域へ定着し、価値を生み出していける新しい地域社会の創造の貢献する人材となることを目指す。

2. 育成する能力と具体的な到達目標及び評価

本授業は、企業・自治体等との協働で地域社会や企業の現実を学び、幅広い視野から地域社会や企業の課題に向き合うこと、学生自身がそうした課題に対応して活躍できる人材に向かって学びを作っていくことを目指す授業であり、そのための学びの場を提供することによって、最終的には、大学での学びの価値に気付かせることにあり、以下の具体的な到達目標を設定する。

(1) 大分県内で働くことに関する現状と働く意義について、必要と考えられる情報収集や積極的な議論を行うなどして、批判的思考を踏まえて自分の考えを説明できる。

<評価の観点>

- ・複数の情報を基にして、多様な人や文化、考え方を整理して分析することができる。
⑰⑳ (対課題基礎力・対人基礎力)
- ・組織や集団の一員として、積極性と柔軟性を持った議論を建設的に行うことができる。
㉕ (対人基礎力)
- ・グループ討議やプレゼンにおいて、自分の考えを他者に分かりやすく説明することができる。
㉔ (対人基礎力)

(2) 大分県で働くことに関する魅力と地域社会や企業が抱える目標や課題を知り、それに対応して活躍するために、地域の大学で学ぶ若者としてそれぞれの専門的な学びを生かして自分の考えを自由に構築する。さらに、その考えの共有や相互評価をとおして、地域社会や企業が抱える課題に対応するための大学での学びの価値について自分の考えを提案できる。

<評価の観点>

- ・大分で働く魅力と、地域社会や企業が抱える目標や課題の分析に基づいて、大分で働くことについて自分の考えをグループ内で分かりやすく説明できる。
⑤⑩⑬⑱⑲ (企業力・地域力・対課題基礎力)
- ・自分の考えを基にして、他者と協調・協働して相互評価しながら、地域社会や企業が抱える課題に対応できる大学等での学び方を提案することができる。
⑱㉓ (対人基礎力)
- ・大学で学ぶ意義を知り、自分なりの生き方を見つけて主体的に学ぼうとし、自分にとっての学びの価値を説明できる。
⑳ (対自己基礎力)

3. 教材と授業の方法

(1) 教育過程の基本的な考え方

- ①自らが地域に必要な人材になる価値に気付かせるために、大分地域の企業や自治体、地域活動団体等と交えて協議することによって活動の現実を情報として、自らの大学における学びの価値と生き方を考えさせる。
- ②グループ討議を行う中で、学生同士の考え方との交流や相互評価をとおして様々な考え方があることを知り、自分自身の考えを深める機会とする。

(2) 必要な教材作成

2) 配信用コンテンツの作成

	コンテンツ名	分	作成担当	説明者	内容(例)
1	授業ガイダンス	① 10 + ② 5 + ③ 5	西村	西村	<p>*ポートフォリオ等を前提に、7月下旬までに作成</p> <p>①授業概要の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の趣旨 ・授業による具体的な目標と評価 ・授業の全体計画 <p>②ポートフォリオ作成の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前調査の指示 <p>③配信授業の受講の仕方の指示</p>
2	キャリアデザインの大切さ	20	岡野CN	岡野CN	<p>*7月下旬までに作成</p> <p>①キャリアデザインとは何か</p> <p>②自分の生き方とキャリアデザイン</p> <p>③大学教育で学ぶキャリア形成の基礎</p> <p>④大学での学びの価値を知ろう</p>
3	職場はあなたを求めています	10 × 5人	大分大学	企業や自治体に依頼して作成	<p>*7月下旬までに出演者の企業等について収録システムで撮影して1本に編集する。(若い社会人)</p> <p>①大分での就職の魅力(メリット)</p> <p>②今抱えている当企業(自治体)の目標と、それに対応する自分の課題</p> <p>③当企業(自治体)が欲しい人材像</p> <p>④大学で何を学んで欲しいか</p>

3) eラーニングコンテンツの整備

・指導教員及び受講者を7月末までに決定してeラーニングコンテンツを整備する。

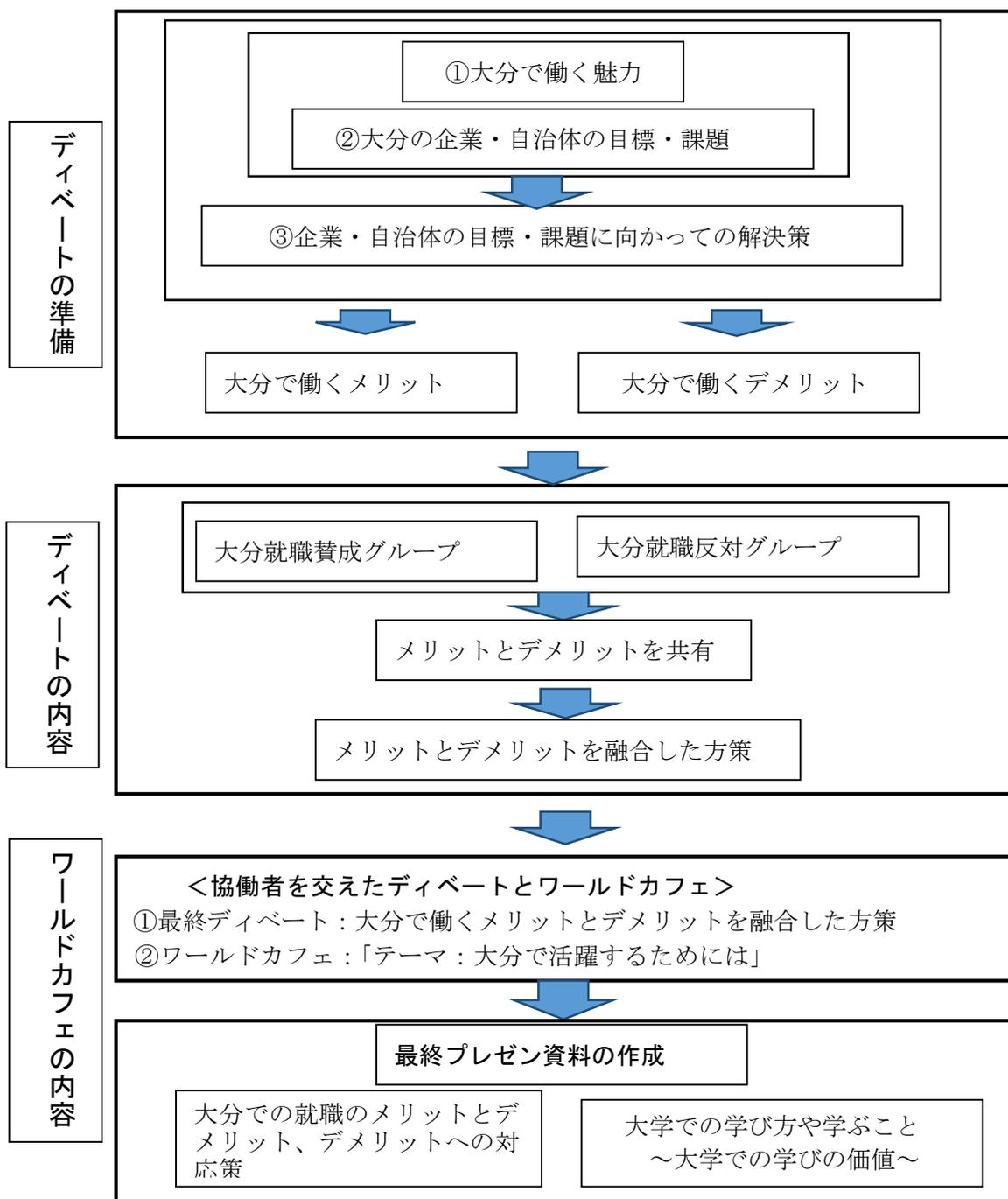
①ムードルからの動画コンテンツの配信

・受講者向けに配信するコンテンツを作成する。

②ムードル上の掲示版でのディスカッション

- ・自己紹介をするページ
- ・意見の掲載や相互に意見交換を行うページ

(3) グループワークの内容と構成



4. 授業の展開

時限	授業内容	アクティブラーニング	評価方法と評価内容
1 担当教員	各大学等で、ムードルでの動画を視聴してガイダンスを行い、本授業の全体の流れ、事前自己チェック等をする。 ① 大学担当者からの説明 ② 授業ガイダンスの動画の視聴 ③ 受講の事前準備 * 授業終了後に各自がムードルに自己紹介を掲載する	・ 動画の説明のライティング ・ 自己チェック	<方法> ・ 「学びの足跡」 ・ 掲示板 <内容> ・ 動画のライティング ・ 自己紹介の内容 ・ 学び方の理解
2～4 eラーニング	eラーニングによる個人学習（ライティングと自分なりの捉え方の整理）によって大分で働く魅力と、地域社会や企業が抱える目標や課題、大学等での学び方について整理する。 ① 「キャリアデザインの大切さ」の視聴によるライティングと自分なりの捉え方の整理 ② 「職場はあなたを求めています」の視聴によるライティングと自分なりの捉え方の整理 ③ 大分で働く魅力と、地域社会や企業が抱える目標や課題、大学等での学び方についてのレポート作成 * レポートをムードルに書き込んで互いにコメントする。	・ 説明のライティング ・ 自分なりの捉え方の整理 ・ ミニレポート作成 ・ 他者の考えへのコメント	<方法> ・ 「学びの足跡」 ・ 掲示板 <内容> ・ ①②の動画のライティング ・ ①②の自分なりの捉え方 ・ ③の総合的な考え方 ・ *の他者の考え方へのコメントの量と質
課外学習	先輩のメッセージ等から作成した自分の意見を補完するために資料を収集して、大分での就職のメリットとデメリットについて整理する。	・ 情報収集活動	<内容> ・ 必要な情報収集
5～8 担当教員	授業の目標に向かってのテーマ設定と授業展開のための、大分での就職を前提とした、大分で働く魅力と、地域社会や企業が抱える目標・課題、大学等での学び方を整理してディベートを進める準備と様々な形でディベートをする。 <午前> ① 授業のねらいの確認 ② 自己紹介とグループ作り ③ 与えられた立場について自分の就職意識（立場）を掘り起こす等のディベートに関する情報整理	・ 自己紹介 ・ グループづくりのアイスブレイキング ・ グループワークやBS ・ クリティカルディベート	<方法> ・ 「学びの足跡」 ・ 掲示板 <内容> ・ 建設的な議論 ・ 課題についての自分の考え ・ 自分の考え ・ 見つけた課題

	<p>*DVD視聴を基にした大分で働く魅力と、地域社会や企業が抱える目標・課題、大学等での学び方について各自で発表して、グループで整理する。意図的なデータ配布や個人収集した資料を配付する。</p> <p><午後></p> <p>①ペアで討議</p> <p>②グループ内での討議</p> <p>③他のグループとのディベート</p> <p>④立場を変えたディベート</p>		
9～12 担当教員	<p>協働者（社会人）を交えた大分県での就職のメリットとデメリットを研究する。</p> <p><午前></p> <p>① 最終ディベート *立場を変えたディベート</p> <p>② 協働者からの全体へのアドバイス</p> <p>③協働者を交えたワールドカフェ *テーマ「大分で活躍するためには」</p> <p><午後></p> <p>① 大分での就職のメリットとデメリット、デメリットへの対応策と学びのシステムを協議</p> <p>②授業のテーマに関するプレゼンテーション資料を作成</p> <p>*大分に就職するための学びのシステムや学びの保証、価値等を提案するための資料を作成する</p>	<p>・クリティカルディベート</p> <p>・ワールドカフェ</p> <p>・グループ討議</p> <p>・プレゼン作成</p>	<p><方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学びの足跡」 ・掲示板 ・社会人評価 <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的・効果的な意見 ・新しく見つけた課題と新しい自分の考え ・自分の学びの考え方
13 ～15 担当教員	<p>大分での就職のメリットとデメリットのプレゼンテーションをとおして、大学での学びのあり方を提案</p> <p>①プレゼン準備</p> <p>②社会人を交えたプレゼンテーション</p> <p>③提案の意見交換をとおした修正</p> <p>④振り返りと自己チェック</p>	<p>・プレゼンテーション</p> <p>・全体討議</p> <p>・グループ討議</p> <p>・自己チェック</p>	<p><方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学びの足跡」 ・プレゼン資料 ・修正資料 ・相互評価 <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・班の考え ・全体の説得力 ・提案の質
課外学習	<p>○課題対応策のプレゼンテーションをとおして自分の考えをまとめてレポート作成を行う。</p>	<p>・最終レポート作成</p>	<p><方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終レポート <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大分での就職に向けた考え方 ・大学での学びの価値

5. 受講対象

- (1) 対象学部全学部 全学科
- (2) 対象学年 1・2年生
- (3) 受講対象者 C O C + 参加校・協力校

6. 開講時期 5月を中心としてその前後に開講

- 1コマ : 各大学等において、授業担当教員が「授業ガイダンス」DVDを使って実施
- 2コマ～4コマ : 授業配信システムを使っての受講生個別のeラーニングで実施
- 5コマ～8コマ : ホルトホールで合同学習を実施
- 9コマ～12コマ : ホルトホールで合同学習を実施
- 13コマ～15コマ : ホルトホールで合同学習を実施

※その他の課外学習

<平成29年度は試行のため以下の日程で行う>

- 1コマ～4コマ : 8月下旬に各学校で実施
- 1回目の合同学習 : 8月29日(火) 9:30～16:50
- 2回目の合同学習 : 8月30日(水) 9:30～16:50
- 3回目の合同学習 : 9月1日(金) 9:30～15:10

7. 授業実施体制

(1) 授業担当者

- ① 主担当教員 : 牧野治敏教授 (大分大学)
- ② 担当教員 : 西村靖史教授 (別府大学)、他各大学から1名

<担当教員の役割>

- ・各大学等からの受講生の選考
- ・可能であれば、授業への参加及び評価

③ SA : 未定

(2) 情報提供・助言者 (4名 : 未定) *なるべく社会人3年以内

(3) 受講者編成 : 5名×4グループを予定 (異なる大学系の学生の混成)

8. 授業評価 (ルーブリック表) と評価方法

(1) 成績評価の内容及び評価割合

評価①資料分析や授業中のグループ討議等での活動状況 (収集分析資料、学びの足跡) : 2割

- ・ 複数の情報を基にして、多様な人や文化、考え方を整理して分析することができる。
- ・ 組織や集団の一員として、積極性と柔軟性を持った議論を建設的に行うことができる。
- ・ グループ討議やプレゼンにおいて、自分の考えを他者に分かりやすく説明することができる。

評価②自分としての魅力や課題の指摘内容 (他者評価、ミニレポート、学びの足跡) : 2割

- ・ 大分で働く魅力と、地域社会や企業が抱える目標や課題の分析に基づいて、大分で働くことについて自分の考えをグループ内で分かりやすく説明できる。

評価③班での課題解決のための提案内容 (プレゼン資料、他者評価、学びの足跡) : 2割

- ・ 自分の考えを基にして、他者と協調・協働して相互評価しながら、地域社会や企業が抱える課題

に対応できる大学等での学び方を提案することができる。

評価④自分にとっての学びの価値（最終レポート）：4割

- ・大学4年間で学ぶ意義を知り、自分なりの生き方を見つけて主体的に学ぼうとし、自分にとっての学びの価値を説明できる。

(2) 評価者と評価内容と方法

① 指導する教員による評価

- ・授業中のグループ討議等での発言や各種資料、振り返りシート、レポートで評価し、ルーブリック表（「学びの足跡」）を中心に評価する。

② 情報提供者による評価

- ・最終報告会では、情報提供者も評価に加わる。

③ 学生の自己評価

- ・「自己チェックシート」で事前事後に評価させる。（「学びの足跡」）

(3) 具体的な到達目標の評価基準例

※各「育成する分野」のポイントに比重を加えて、その合計ポイントでS/A/B/C/Dの評価を行う。

評価の内容	ポイント4	ポイント3	ポイント2	ポイント1
授業中のグループ討議等での活動状況	・ <u>複数の情報を</u> 基にして、多様な人や文化、考え方を <u>整理して分析する</u> ことができた。	・収集した情報や資料等を根拠にして <u>自分の考えを整理</u> した。	・情報を <u>詳しくメモして、自分の考えを整理</u> した。	・ <u>情報を簡単にメモ</u> することができた。
	・積極性と柔軟性を持った <u>議論を建設的</u> に行うことができた。	・ <u>応答しながら議論</u> ができた。	・ <u>自分の資料を説明</u> した。	・ <u>尋ねられたら答</u> えた。
	・グループ討議やプレゼンにおいて、 <u>自分の考えを他者に分かりやすく説明</u> することができた。	・ <u>分かってもらえるように工夫して説明</u> できた。	・尋ねられたことや役割分担は <u>自分の考えで説明</u> できた。	・尋ねられたことや <u>役割分担</u> はできた。
自分としての課題の指摘や提案内容	・ <u>大分で働く魅力と、地域社会や企業が抱える目標や課題の分析</u> に基づいて、大分で働くことについて自分の考えをグループ内で <u>分かりやすく説明</u> できた。	大分で働く魅力と企業等の <u>目標や課題を分析して、課題解決にむけた自分の考え方を説明</u> できた。	大分で働く魅力と企業等の <u>目標や課題を基にして課題解決にむけた簡単な提案</u> ができた。	大分で働く魅力と企業等の <u>目標や課題を簡単に説明</u> ができた。

班での課題解決のための提案内容	・自分の考えを基にして、他者と協調・協働して相互評価しながら、 <u>地域社会や企業が抱える課題に対応できる大学等での学び方を提案することができた。</u>	・自分の考えを基にして、地域づくりや特色ある産業等の <u>魅力や地域社会や企業が抱える課題にとその対応策について班の考え方として説明</u> できた。	・地域づくりや特色ある産業等の <u>魅力や地域社会や企業が抱える課題とその対応策について</u> 他者の意見をメモしながら <u>新たな気づき</u> があった。	・地域づくりや特色ある産業等の <u>魅力や地域社会や企業が抱える課題について</u> 他者の意見をメモしながら <u>新たな気づき</u> があった。
自分にとっての学びの価値	・大学4年間で学ぶ意義を知り、自分なりの生き方を見つけて主体的に学ぼうとし、 <u>大学等での学び方と、自分にとっての学びの価値</u> を説明できた。	・自分の生き方を考えて、 <u>大学等での学びについて自分の学びの設計を基にして考え方を説明</u> できた。	・自分の生き方を考えて、 <u>大学等での学びについて自分の考え方を説明</u> できた。	・自分の <u>大学等の学び方を言えた。</u>

9. 授業に関するその他の事項

①時間外学習

○情報収集やグループワークを中心とした授業ですから、15コマ以外に各種情報の収集やプレゼン資料の作成などの活動がありますので、自主的な活動時間が必要です。

②準備物

○その都度指示します。

③注意事項

○本授業の趣旨・内容・ねらいを十分に理解して受講することが必要です。受講生は20名程度です。受講者数が多い場合は受講者調整を行います。

○グループ形式ですから欠席すると次の学習が極めて困難になるとともに、グループメンバーに迷惑をかけることとなります。十分承知した上で受講して下さい。

10. 評価結果と考察

※評価結果の記載内容は検討中